

平成 28 年度早池峰地域保全対策事業推進協議会

日時：平成 29 年 3 月 28 日（火） 10 時～12 時

場所：岩手県立県民生活センター大ホール

次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 事
 - (1) 早池峰山河原の坊登山道の通行止め及び今後の見通しについて
 - (2) 平成 29 年度早池峰登山シャトルバスの運行及び車両交通規制について
 - (3) 部会報告
 - ア 早池峰地域自動車利用適正化部会
 - イ 早池峰山山頂避難小屋あり方検討部会
 - ウ 早池峰地域シカ対策部会
 - (4) 平成 28 年度早池峰地域保全対策事業実施結果及び平成 29 年度早池峰地域保全対策事業実施計画について
 - (5) その他
- 4 閉 会

平成 28 年度早池峰地域保全対策事業推進協議会出席者名簿

区分	所属	職	氏名	代理出席
山岳 関係	岩手県山岳協会	前副会長	鈴木 主計	
	岩手県勤労者山岳連盟	常任理事	八重樫 隆	
自然 保護 関係	早池峰フォーラム実行委員会	事務局長	望月 達也	
	早池峰をきれいにする会	会員	柳田 千恵喜	
	早池峰の未来を考える女性の会	代表	上平 玲子	
観光 業等	公益社団法人岩手県バス協会		欠席	
	一般社団法人日本旅行業協会岩手 県地区委員会		欠席	
報道 機関	岩手日報社編集局報道部	第二部長	八重樫 卓也	
国	岩手南部森林管理署遠野支署	署長	小笠原 孝	
	三陸北部森林管理署	署長	野藤 昌弘	次長 山本 毅
	環境省東北地方環境事務所盛岡自然 保護官事務所	自然保護官	河村 俊彦	
関係市	花巻市大迫総合支所地域振興課地 域支援室	室長	畠山 敬志	
	遠野市環境整備部環境課	課長	新田 順子	
	宮古市川井総合事務所	所長	中村 博文	
県	環境生活部自然保護課	総括課長	清水 一夫	主任主査 佐藤 善博
	商工労働観光部観光課		欠席	
	県土整備部道路環境課	総括課長	千葉 行有	
	警察本部生活安全部生活環境課		欠席	
	県南広域振興局保健福祉環境部	部長	藤尾 修	
	沿岸広域振興局保健福祉環境部宮 古保健福祉環境センター	所長	菊池 修一	環境衛生課長 佐藤 德行
事務局		技術主幹兼 環境衛生課長	佐藤 真澄	
		主任主査	田老 真帆	
		主査薬剤師	神山 隆行	
		主任	松本 文雄	

平成28年度早池峰地域保全対策事業推進協議会配席図

	議長・八重樫委員 (岩手日報社)		
報道席	鈴木委員 (岩手県山岳協会)		畠山委員 (花巻市)
	八重樫委員 (岩手県県勤労者山岳連盟)		新田委員 (遠野市)
	望月委員 (早池峰フォーラム実行委員会)		中村委員 (宮古市)
傍聴席	柳田委員 (早池峰をきれいにする会)		清水委員代理 佐藤主任主査 (県自然保護課)
	上平委員 (早池峰の未来を考える女性の会)		千葉委員 (県土整備部道路環境課)
	小笠原委員 (岩手南部森林管理署所遠野支署)		
傍聴席	野藤委員代理山本 次長(三陸北部森林管理署)		藤尾委員 (県南広域振興局保健福祉環境部)
	河村委員 (東北地方環境事務所盛岡自然保護官事務所)		菊池委員代理佐藤環境衛生課長(宮古保健福祉環境センター)
関係者	事務局(県南広域振興局保健福祉環境部)		
県自然保護課 千葉主任主査	事務局 佐藤技術主幹兼 環境衛生課長	神山主査薬剤師	田老主任主査

事務局	
松本主任	

出入口

河原の坊登山道 崩落地の状況と対応状況

1 崩落地の状況

平成 28 年 5 月 26 日(木)の大雨によって、河原の坊登山道の一部が崩落し、非常に危険な状態となったため、5 月 28 日(土)の午前 11 時から、河原の坊登山口～早池峰山山頂間の全線を通行止めとした。

(1) 河原の坊コース登山道崩壊状況速報

平成 28 年 5 月 29 日現在 (花巻市自然公園保護管理員 八重樫理彦氏の報告)

(2) 河原の坊コース崩壊地現地調査報告書

平成 28 年 6 月 8 日 (県自然保護課職員等の調査報告)

(3) 千丈ヶ岩上部崩壊地の状況変化

6 月 8 日、8 月 28 日、9 月 26 日 (花巻市自然公園保護管理員 八重樫理彦氏の報告)

(4) 河原の坊登山道崩落状況

平成 28 年 9 月 30 日撮影 (岡野治氏提供)

2 対応状況

(1) 河原の坊登山道通行禁止措置状況

各登山口閉鎖状況と看板類

(2) ウェブサイトへの情報掲載

① 自然保護課ウェブサイト

② 「山と高原地図」登山情報リンク集 (①へのリンク)

(3) 小田越登山口の仮設トイレ増設

平成 27 年 : 大小兼用 3 基 + 小用 1 基 → 平成 28 年 : 大小兼用 6 基 + 小用 2 基

河原の坊コース登山道崩壊状況速報(2016年5月29日現在)



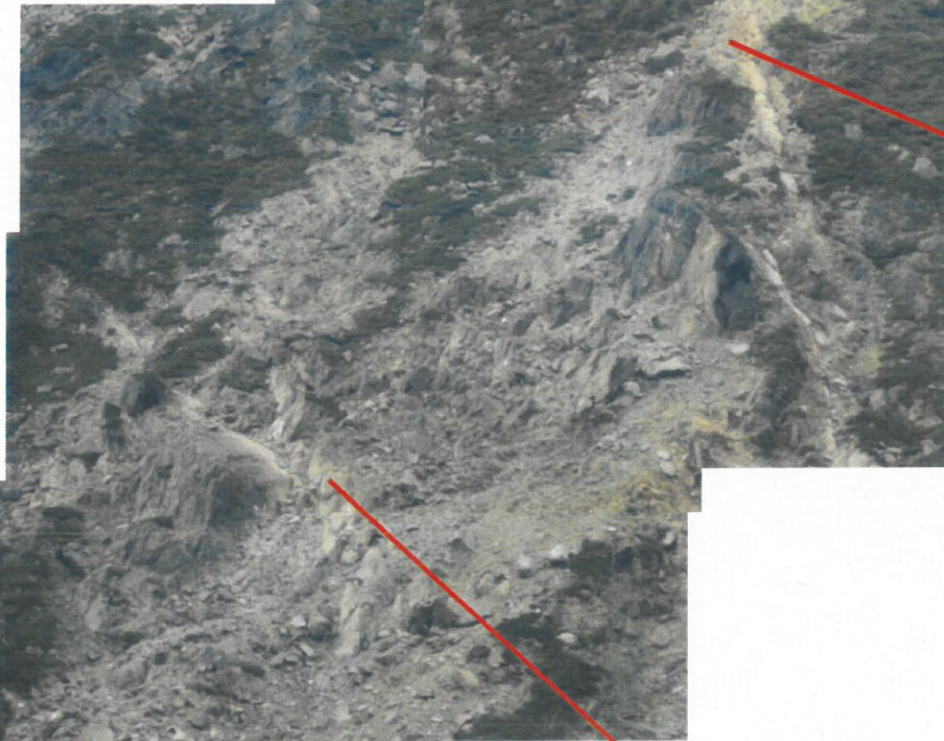
千丈ヶ岩(1750m)付近:約20m幅で地面が大きくえぐれ、土砂が登山道を完全に流失させ、浮き石が大量に発生。
雨が降れば再び崩壊する恐れがある。



崩壊の源頭部(標高1764m付近)



千丈ヶ岩基部の標柱は土砂に埋まっている。



千丈ヶ岩～打石:登山道がV字谷のようにえぐれて流失したり土砂に埋まったりしている。浮き石が大量に発生。

打石(標高1868m):大石が上方からいくつも直撃。基部の標柱は5mほど下に逆さまに落ちている。



打石～御座走り岩:登山道があちこちで流失し、浮き石が多数発生。



御座走り岩(1595m)付近:登山道の目立った流失はないが上方からの落石と落石の痕石が見られる。

御座走り岩～御神坂:登山道や法面が至る所で流れ、上から落ちて来たと思われる落石と落石の痕跡が最も低いところで標高1400m付近に達している。



早池峰山河原の坊コース崩壊地現地調査報告書

調査概要

- 【調査日時】平成28年6月8日(水) AM10:00~PM4:30
- 【調査地】早池峰山山頂より河原の坊コース約500m地点
標高約1760m地点(千丈ヶ岩付近 下図参照)
- 【調査者】山岳協会 浅沼 利一郎
花巻市自然公園保護管理員 八重樫 理彦
花巻市地域振興課地域支援室 藤原地域支援監
早池峰GV 岡野 治
県自然保護課 浪岡主査・内本
- 【同伴者】岩手日報社 報道部 菊池記者
- 【調査ルート】小田越~山頂~現地~山頂~小田越
- 【調査方法】目視及び崩壊地踏査による現地確認
- 【備考】河原の坊コーススタート地点及びゴール地点(山頂)の立入禁止措置状況(ロープの設置及び立入禁止の表示)を確認



【崩壊地全域を遠景より確認】
広範囲で崩落が発生していることを遠目から確認。崩壊地周辺にはハイマツ群落があることも確認できる
※小田越コースより撮影



【岩が土留となり流出を止めている状況】



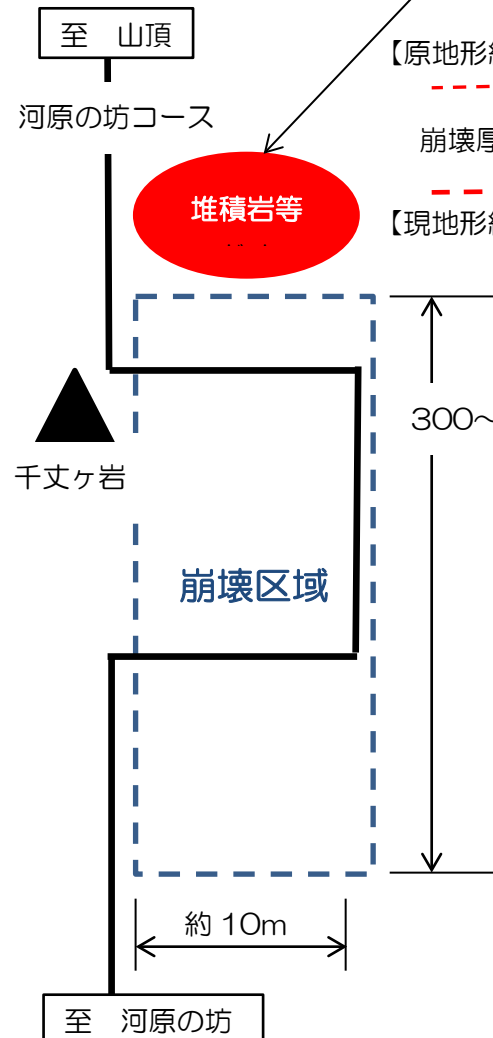
【原地形線】
崩壊厚
【現地形線】
300~400m 【土砂、岩の色より原地形線を推定】



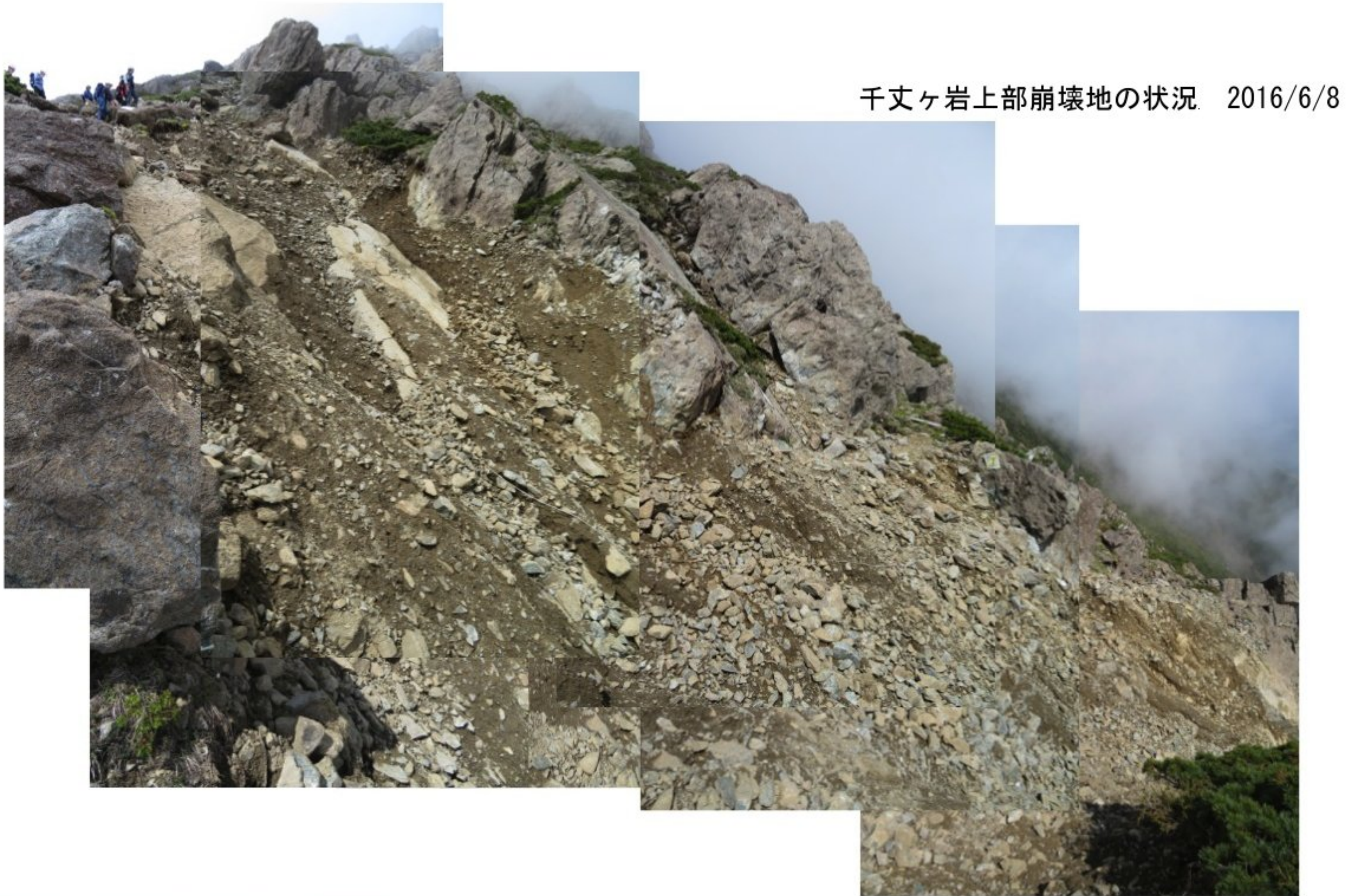
【歩道ルートは跡形もなく完全に流出】



現地模式図



- 【調査結果】
- ◆崩壊区域は表土が完全に流失しているわけではなく、区域には多くの岩、土砂が残存している状況。また崩壊発生地点の上流部も大量の岩、土砂が堆積しており、非常に危険な状況
 - ◆歩道は崩壊区域を2回横断するルートとであることから、単純な迂回ルート想定も困難な状況
 - ◆当面は崩壊区域の経過観察を行いながら長期的に今後の方針を検討していく。

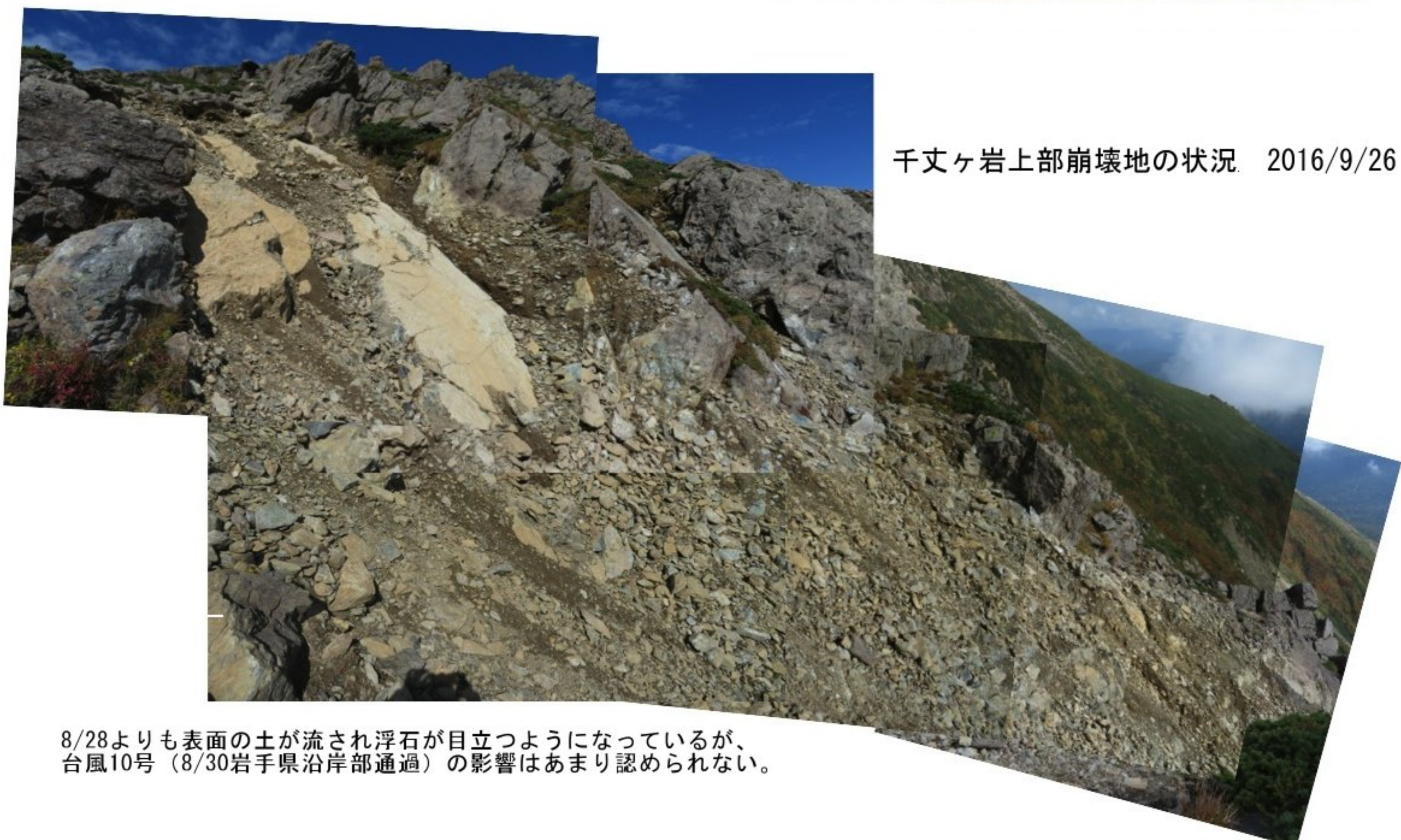


千丈ヶ岩上部崩壊地の状況 2016/6/8



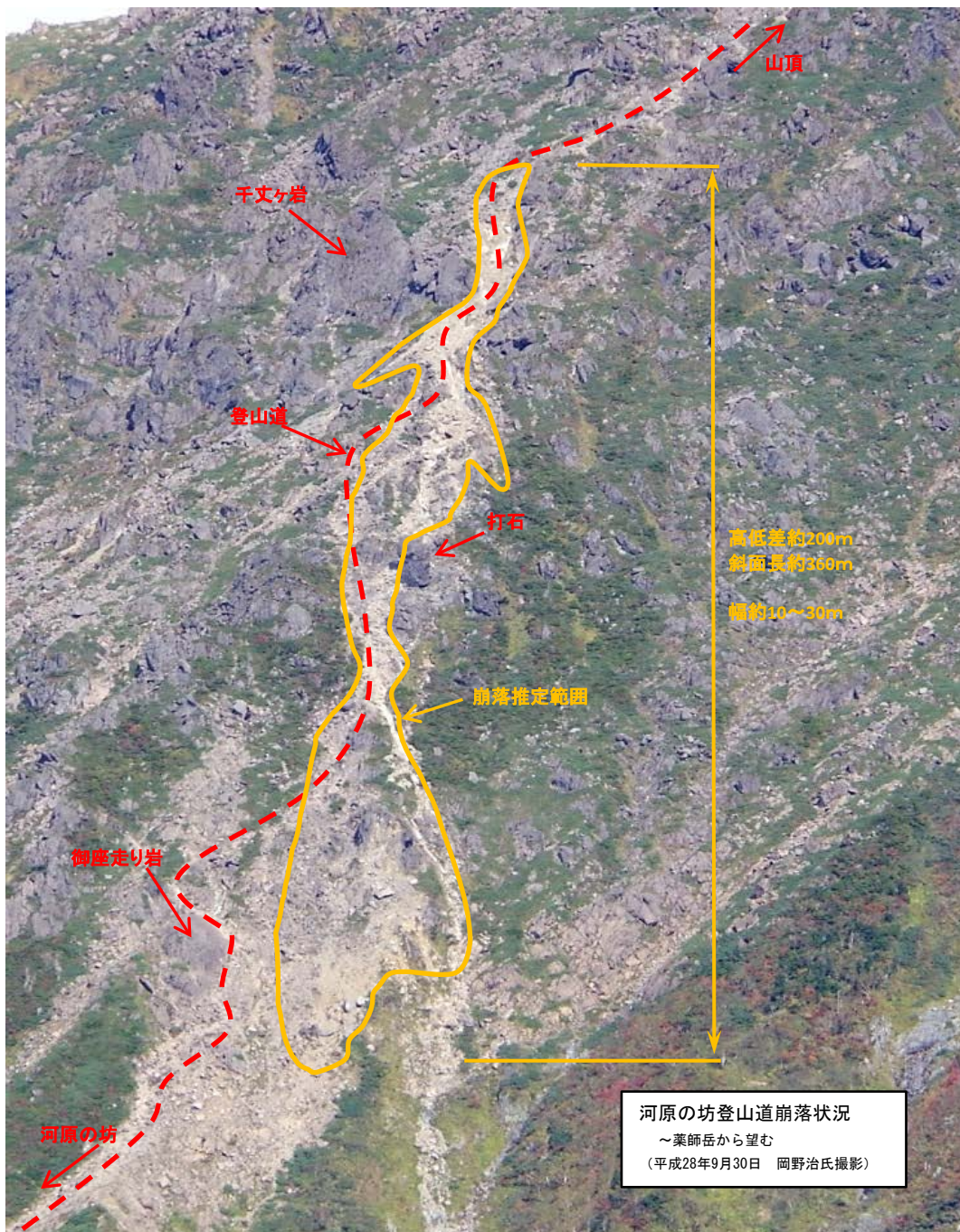
千丈ヶ岩上部崩壊地の状況 2016/8/28

6/8よりも表面の土が流され、土に埋まっていた岩や石が現れている。



千丈ヶ岩上部崩壊地の状況 2016/9/26

8/28よりも表面の土が流され浮石が目立つようになっているが、台風10号（8/30岩手県沿岸部通過）の影響はあまり認められない。



千丈ヶ岩

登山道

打石

崩落推定範囲

御座走り岩

河原の坊

山頂

高低差約200m
斜面長約368m
幅約10~30m

河原の坊登山道崩落状況
～薬師岳から望む
(平成28年9月30日 岡野治氏撮影)

河原の坊登山道通行止め掲示

① 河原の坊登山口



② 小田越登山口



登山届記入箱



管理員詰所



③ 門馬登山口

登山口



登山届記入箱



早池峰国定公園河原の坊コース登山道の通行止めについて

ID番号 N45812

更新日 平成28年5月31日

早池峰国定公園河原の坊コース登山道の通行止めについて



早池峰国定公園河原の坊コース登山道につきましては、平成28年5月26日(木)の雨に影響により登山道の一部(千丈ヶ岩～打石付近)が崩落し、大変危険な状況ですので、当分の間、**河原の坊コース登山道を通行禁止**とします。

なお、他コースから登山し、河原の坊コースを下山することもできませんので御了承ください。

御迷惑をおかけしますが、御理解のほどよろしくお願いいたします。

河原の坊登山コース閉鎖に伴うトイレ利用について

河原の坊コース登山道の通行止めに伴い、小田越コース登山道が大変込み合うことが予想され、小田越コース登山口で設置しております仮設トイレの利用者の増加も見込まれます。

そのため、小田越コース登山道から登山される方は、できるだけふもとの**岳駐車場トイレ**、または**峰南荘前公衆トイレ**を御利用ください。

また、河原の坊コース登山道は通行止め中ですが、登山口付近のトイレ、河原の坊総合休憩所内のトイレは御利用いただけます。

添付ファイル

崩落状況

 [崩落状況 \(PDFファイル 4.2MB\)](#)



山と高原地図

Official yamatokougen

フォロー

メッセージ

0 フォロー
2975 フォロワー

プロフィール	日記/お知らせ	イベント	キャンペーン	山行記録	山行計画	商品紹介
登山道情報	ヤマプラの地図について					
■ 登山道・アクセス林道 通行止情報 (『山と高原地図』エリア別)						

・おもに公共団体等から発表されている登山道・林道の通行止め情報等を『山と高原地図』のエリア別にまとめています。

※アクセス道路の冬期閉鎖については、一部を除き掲載しておりません。

・ユーザーの方々からの投稿情報受付も行っています。

まだこのリストに掲載がない情報で、ご存じの登山道の通行止め情報等がございましたら、投稿をお願いいたします。

<登山道情報の投稿方法>

投稿には、[「山と高原地図 登山道情報投稿コミュニティ」](#)への参加が必要です。

下記の手順でコミュニティに参加してから投稿をお願い致します。

「登山道情報を投稿する」を押下



「コミュニティトップへ」を押下



このコミュニティに「参加する」を押下



再度、リンク集の「登山道情報を投稿する」を押下で投稿が可能です。

※掲示情報には『山と高原地図2016年版』に掲載済みの情報も含まれます。

※情報は日々更新・追加しておりますので網羅性は保証されておりません。何卒ご了承ください。

※ユーザー投稿情報で、情報確認中 (または未確認) のものはこの色の文字で表示します。

タイトル	情報リンク集	ユーザー投稿情報
1利尻・羅臼	<ul style="list-style-type: none"> ・雌阿寒岳 フレベツ白水林道通行止 (2016年9月30日) 【北海道森林管理局】 ・雌阿寒岳 火口周辺警報 (火口周辺規制) は解除されました(2015年11月13日) 【気象庁HP】 	登山道情報を投稿する
2ニセコ・羊蹄山		

		登山道情報を投稿する
3大雪山	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富良野岳 原始ヶ原登山道、通行止 (2016年8月29日) 【ふらの観光協会HP】 ・ チロロ岳 パンケヌーシ林道、土砂崩れのため通行止 (2016年8月29日) 【北海道森林管理局】 ・ ヌカピラ岳・北戸蔦別岳 チロロ林道、土砂崩れのため通行止 (2016年8月29日) 【北海道森林管理局】 ・ 東大雪地域の各林道で台風の影響により通行止 (2016年8月26日) 【北海道森林管理局】 <p>※必ず林道の状況を事前確認してからおでかけください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夕張岳 鹿島林道、鹿島支線林道は通行止 (2016年8月25日) 【北海道森林管理局】 ・ 「雲井ヶ原湿原」登山道 当分の間 通行止め 【上川総合振興局HP】 ・ ヌブントムラウシ林道 (ヌブントムラウシ温泉方面) の通行止め (2013年6月21日) 【北海道森林管理局HP】 ・ 羽衣の滝 遊歩道及び敷島の滝への道 通行止 (2014年7月10日※情報確認) 【東川観光協会HP】 	登山道情報を投稿する
4八甲田・岩木山		登山道情報を投稿する
5岩手山・八幡平	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒倉山 山頂部付近は立ち入り禁止 (詳しくはHPを参照のこと) 【岩手県HP】 	登山道情報を投稿する
6栗駒・早池峰	<ul style="list-style-type: none"> ・ 焼石岳 トラス歩道橋崩落のため夏油温泉～経塚山間 通行止め 【北上市HP】 ・ 早池峰国定公園河原の坊コース登山道の通行止めについて (2016年5月31日) 【岩手県HP】 	登山道情報を投稿する
7蔵王	<ul style="list-style-type: none"> ・ 船形山 大滝野営場に通じる保野川林道 通行止(2015年9月16日) 【色麻町HP】 ・ 蔵王山 馬の背付近の登山道、立入規制の解除(2016年7月1日) 【宮城県HP】 ・ 蔵王山の火口周辺警報 (火口周辺危険) は解除されました(2015年6月16日) 【気象庁HP】 	登山道情報を投稿する
8鳥海山・月山		登山道情報を投稿する

小田越登山口の仮設トイレ増設

河原の坊コースが閉鎖されたことから、小田越コースの利用者が増え、小田越登山口のトイレが混雑することが予想されたため、仮設トイレの設置数を前年の倍とすることとした。



平成 27 年：大小兼用 3 基＋小用 1 基



平成 28 年：大小兼用 6 基＋小用 2 基（倍増）

▼利用状況（平成 28 年 6 月 12 日山開き）



仮設トイレ利用状況

年度	設置数	設置期間	し尿回収量 (ℓ)	備考
H 2 7	大小兼用 3 基＋小用 1 基	6/10～10/20 (133 日)	2,066	
H 2 8	大小兼用 6 基＋小用 2 基	6/12～10/17 (128 日)	5,220	

【参考】河原の坊、小田越登山口利用者数（自然保護管理員調べ：非公式資料）

年度	河原の坊登山口	小田越登山口	計	備考
H 2 7	7,275	8,492	15,767	
H 2 8	486	13,978	14,464	

平成 28 年度 早池峰地域シカ対策部会 協議結果

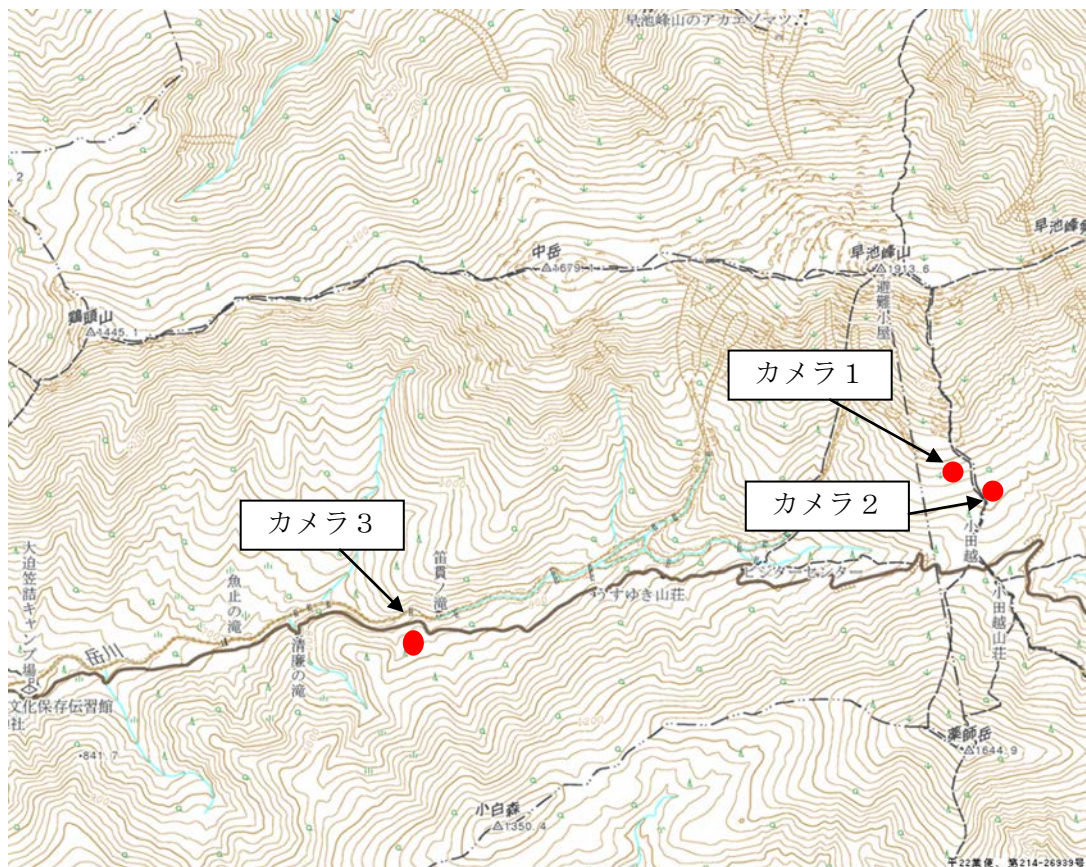
平成 29 年 2 月 14 日 (火) 午前 10 時～
岩手県盛岡地区合同庁舎 8 階 講堂 B

平成 28 年度早池峰地域シカ対策部会実施結果

- ① 今年度の取組結果と今後の取組
 - ・忌避剤導入試験の取組 (モニターカメラの設置結果)
 - ・シカ目撃情報収集
 - ・平成 28 年度早池峰山シカ食痕調査結果
 - ・今後の取組
- ② 次回開催予定 (12 月を予定)

1 忌避剤導入試験の取組 (モニターカメラの設置)

シカ忌避剤について、導入試験を実施する前にシカの行動を把握するため、下記 3 箇所にモニターカメラを設置。



(1) カメラ設置期間と設置個所

設置期間

カメラ1：平成28年5月24日～平成28年10月19日

カメラ2：平成28年5月24日～平成28年10月19日

カメラ3：平成28年8月5日～平成28年11月2日

設置個所

カメラ1：小田越コース1合目下

カメラ2：小田越コース1合目下

(登山道上にシカ(カモシカ?)糞が多くみられた箇所内の林内)

カメラ3：清廉の滝から笛貫ノ滝の間、県道25号線沿いのシカ道が確認された林内

(2) 結果

カメラNO.	月	性別			計
		オス	メス	不明	
カメラ1	6	3	1		4
	7			1	1
	8			1	1
カメラ2	6	1	2		3
	9	1		2	3
	10	1			1
カメラ3	8		5	3	8
	9	19	47	9	75
	10	4	4	3	11
総計		29	59	19	107

カメラ1

- ・当初登山道を挟んで反対側の林内を撮影していたが、登山者が多く映り込んでいたため、反対側の林内のみ撮影されるようにカメラを移動した。
- ・6月に最も多く4頭撮影された(うち3頭はオス。別個体)。
- ・7月、8月には雌雄不明個体が1頭ずつ撮影されたが、9月、10月は撮影されなかった。

カメラ2

- ・6月、9月、10月にはシカが撮影されたが、7月、8月には撮影されなかった。

カメラ3

- ・9月に最も多く75頭が撮影された。
- ・1回の撮影で最も多く撮影されたのは、9/23のメス4頭。
- ・多くのシカが林内から県道を越えて反対側林内(川沿い)に抜けていると思われる。

2 シカ目撃情報収集について

(1) 目撃情報について

ア 目撃情報件数の推移

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
件数	1	2	0	6	5	4	21	55	43

イ H28 目撃情報の区分別件数

区分	道路	山中	鳴き声	食害	痕跡	不明	計
件数	26	2	2	3	0	10	43
比率 (%)	60.5	4.6	4.6	7.0	0	23.3	

ウ H28 目撃情報の市町村別件数

市町村名	花巻市	遠野市	宮古市	不明	計
件数	33	3	3	4	43
比率 (%)	76.7	7.0	7.0	9.3	

エ H28 目撃情報の特徴

- ・目撃情報件数がH27 よりも若干減少した。(H28 には河原の坊コースが崩落により閉鎖となったことが影響した可能性がある)。
- ・目撃情報の区分別では約 60%が道路上の目撃、市町村別では約 76%が花巻市であった。
- ・食害は県道 25 号 (河原の坊～うすゆき山荘間) 道路脇 (フキ、ササ、イタドリ、トウキ、ヨモギ、トリアシショウマ、オニシモツケ、ゴマナ、タマガワホトトギス、ヤグルマソウ) 及び水田の稲で確認。

(2) 早池峰山周辺地域シカ監視員の設置について

ア 早池峰山周辺地域シカ監視員の設置の経緯

- ・早池峰山周辺は、山岳地帯で狩猟には条件が悪く、また、農業被害発生個所からも距離が離れていることから、積極的な狩猟が行われていなかったが、近年、シカが目撃情報や植生被害が増加し、貴重な高山植物等への被害が発生することが懸念されている。
- ・そこで、早池峰山周辺において有害捕獲等が実施されているが、従来、あまり狩猟が行われていない地域であり、シカの分布状況や、捕獲の際のシカの動向等が不明であるため、捕獲効率が悪く、個体数の減少につながっていない現状である。そこで、早池峰山周辺地域におけるシカの動向等を把握するため、平成 28 年度より「早池峰山周辺地域シカ監視員」2 名を任用した。

イ 早池峰山周辺地域シカ監視員の配置状況

- ・花巻市側 (遠野市側) 及び宮古市側に各 1 人ずつ監視員を配置し、年間を通じて (H28 年度は 10 月以降の任用) 県道、山中等パトロールを実施、シカの痕跡等の情報を収集した。

ウ H28 年度の早池峰山周辺地域シカ監視の結果 (H28.10 月～H29.1 月まで)

- ・別添集計表のとおり。

エ 得られた情報の活用方法等について

- ・早池峰山周辺で捕獲作業に従事する狩猟者にシカの季節動向等情報を還元し、捕獲の効率化を図る。
- ・早池峰山自体は国指定の天然記念物に指定されていることから、この地区における捕獲には文科省の許可が必要となっている。将来の当該地区内における捕獲を見据え、許可申請の際に必要なシカのデータ (捕獲の候補地等) を蓄積する。

4 今後の取組について

○ 忌避剤の試験散布について

1 ねらい

笛貫ノ滝付近のシカの通り道に岩手大学農学部が開発した忌避剤のサンプルを試験散布して以下の項目について検証する。

- (1) 忌避効果
- (2) 自生植物等への影響
- (3) ニオイなど人的影響

2 散布方法等

- (1) 場所：笛貫ノ滝付近（自然公園の区域外）
- (2) 使用する忌避剤：岩手大学農学部が研究開発したライオン排泄物由来の忌避剤
- (3) 散布時期：今後調整 ※ 忌避効果は2～5か月程度
- (4) 散布方法

忌避剤を希釈した水溶液を上記場所に農薬散布機（動力噴霧）などにより散布する。
なお、散布したエリアがわかるように目印（ピンクテープなど）を表示する。

3 確認方法

散布前、散布後、1週間後、1か月後にそれぞれ現地を踏査して痕跡や植物の状況などを調査する。また、カメラを設置しシカの行動を調査する。

- (1) 調査項目
 - ① 痕跡等（足跡・フンなど）の確認 ※散布、未散布での違いを確認
 - ② 自生植物の確認（枯れ、被食、踏み荒らしなど）
 - ③ 臭気の確認
- (2) 確認者
参加可能な委員
岩手大学農学部 西プロジェクト研究員
事務局（自然保護課職員）

○ シカ分布状況の情報提供

モニタリング（H27.28実施）及びシカ監視員により得られたシカの分布状況を、捕獲従事者（狩猟者）に情報提供し、捕獲の効率化を図る。

【委員からの主な意見等】

- ・センサーカメラの結果、目撃情報、シカ監視員からの情報を、東北森林管理局のデータと統合して活かしてほしい。
- ・センサーカメラは、専門家のアドバイスを入れて、動向把握の適している場所、設置方法を考えてほしい。
- ・忌避剤の試験散布は、緻密な計画を立て、シカの専門家のアドバイスをもらいながらやってほしい。

3 平成 28 年度早池峰山シカ食痕調査結果

20170206

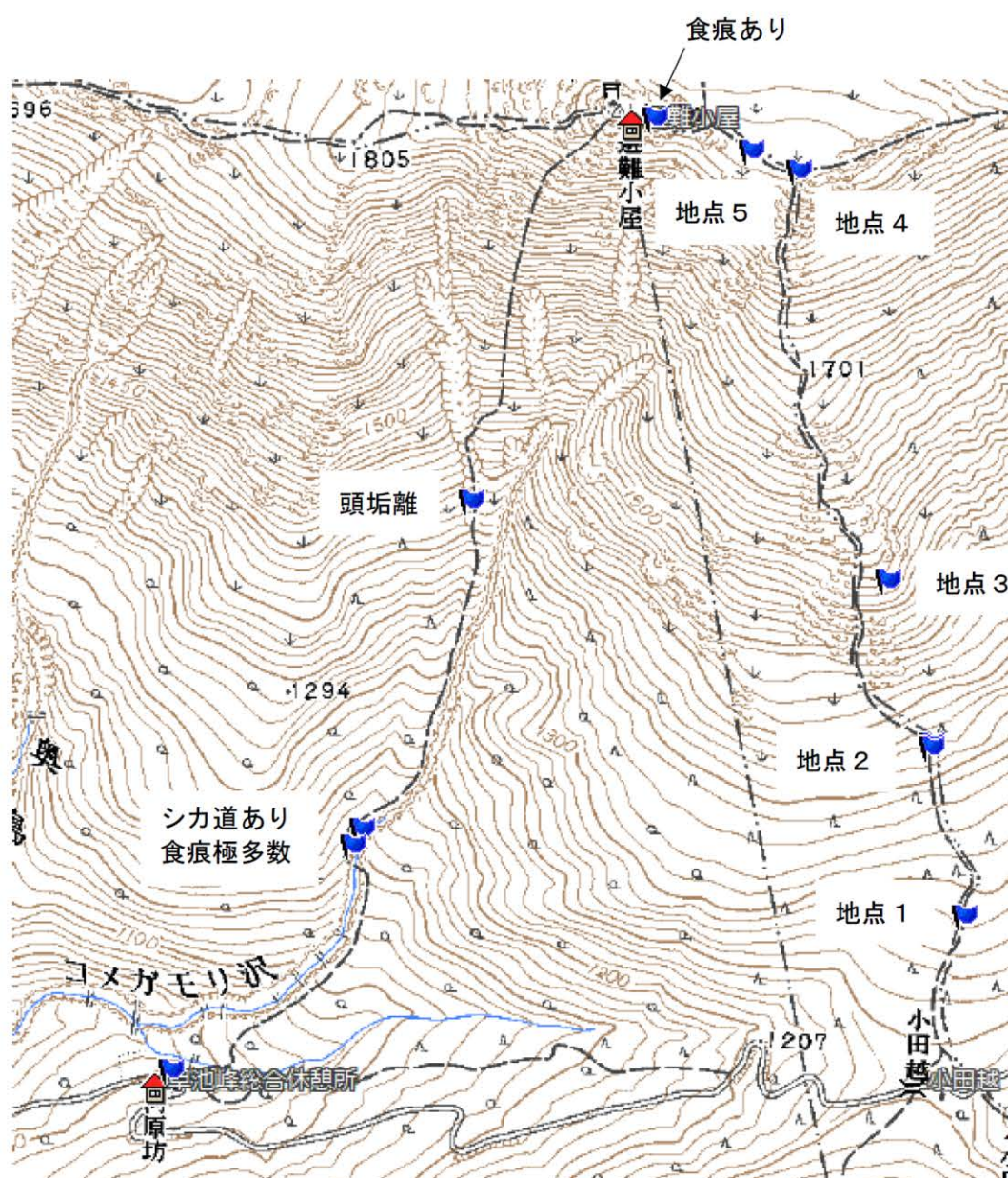
鈴木まほろ（岩手県立博物館）

1. 実施日時・場所

- (1) 2016 年 7 月 31 日 河原坊登山道 登山口（標高 1,050m）～頭垢離（1,373m）
- (2) 2016 年 8 月 12 日 小田越登山道 登山口（標高 1,250m）～山頂（1,917m）

2. 方法

河原坊では、ルート上で草食動物による食痕のあった種と、その頻度の目視確認・写真記録を行った。小田越では、上記に加え、昨年登山道沿いに設けた 5 つの固定地点において、定点間を 1 m 間隔で撮影記録した。なお、河原坊登山道での調査は今年が初めて、小田越登山道での調査は 3 年目である。



3. 結果・考察

<河原坊>

河原坊登山道上で草食動物による食痕が見つかった植物は60種以上にのぼった(別紙リスト1参照)。これは、2014・5年に行った小田越登山道での調査で記録された被食種数の2倍以上であった。森林帯においては、シカが好んで食べる嗜好種では大半の個体に食痕があり、それ以外の植物にも新鮮な食痕が多く見られ、食痕がない種はわずかであった。河原坊周辺の森林帯では、シカが嗜好種を選択的に食べるフェイズはすでに過ぎ、忌避種以外の全ての植物を積極的に食べるフェイズに入っていると言える。被食量もかなり多く、登山口の近傍では急速に裸地化が進行していると推測される場所もあった。一方、岩塊地では食痕はかなり少なく、あっても嗜好種に限られていた。

河原坊登山道は、今年5月に発生した頭垢離の上部における大規模崩落のため、登山者の通行が禁止されている。管理員の方によれば、昨年までこれほど多くの食痕はなかったとのことである。登山道閉鎖で人の往来がほとんど無くなったことにより、シカがこの周辺に長時間滞在するようになり、摂食量が急激に増加したものと考えられる。一方、岩塊地はシカの利用が少ないと推測される。

<小田越>

小田越登山道沿いの森林帯では、2014・5年に引き続き、シカが好む植物において多くの食痕が見られた(別紙リスト2参照)。特に調査地点1・2では、すでにハリブキ・オオカメノキ・カニコウモリなど嗜好種の枯死や矮小化によるフロラの単純化と、ディアラインの形成が進行しており、被食が恒常的になっていると言える。

森林限界を越えた二合目にある地点3でも、昨年と同様に食痕およびシカの足跡が多数発見された。昨年、何本もの花茎が食べられていた大型セリ科植物のオオカサモチは、今年は1本も発見することができなかったが、同じく大型セリ科のエゾノヨロイグサの花茎に複数の食痕が見られた。地点3でオオカサモチが見られなくなった原因は不明であるが、花茎が伸びる前にシカまたはカモシカに食べられてしまった可能性がある。他に、昨年まで食痕が見られなかったヨツバシオガマやトウウチソウ属にも、わずかに食痕が発見された。

剣ヶ峰分岐の地点4では食痕は全く発見できなかった。一方、地点5に近い御田植場と、山頂直下の登山道沿いで、中型セリ科植物のシラネセンキュウなど、限られた種の花茎に多数の食痕が見られた。これは昨年には見られなかったものである。ただし、いずれも被食量は多くなく、少数のシカまたはカモシカが通過したことによる一時的なものと推測された。

<その他>

2016年7月2・3日に、早池峰北面門馬登山道の登山口～7合目付近において、県自然保護課の依頼による絶滅危惧植物調査を行った際、同時に食痕も記録した(別紙リスト3)。特に登山口から5合目までは嗜好種において多くの食痕が見られ、7合目登山道沿いにも若干の食痕が発見された。ただし、登山道を外れた標高1,000m以上の岩塊地では、食痕は全く見られなかった。

<リスト1> 河原坊登山道沿いで食痕が見つかった種と被食の頻度 (多・中・少)

〔シダ植物〕

イヌガンソク (中)、イワデンダ (少) オシダ (少)、クジャクシダ (少)、ゼンマイ (少)

〔単子葉草本〕

【イネ科】ススキ (少)、チシマザサ (少)、ホガエリガヤ (少)、ヤマカモジグサ (少)、【ユリ科】タマガワホトトギス (中)

〔その他草本〕

【キンポウゲ科】ウゼントリカブト (少)、【ユキノシタ科】トリアシショウマ (少)、【バラ科】オニシモツケ (多)、シロバナトウウチソウ (少)、ヤマブキショウマ (少)、【タデ科】オオイタドリ (少)、【ナデシコ科】センジュガンピ (少)、【オオバコ科】クガイソウ (少)、【シソ科】ウツボグサ (少)、ミソガワソウ (少)、【ハマウツボ科】エゾシオガマ (少)、【キキョウ科】ソバナ (中)、【キク科】アキノキリンソウ (少)、オオヒヨドリバナ (多)、オオヨモギ (少)、ハヤチネコウモリ (少)、ゴマナ (中)、シロヨメナ (多)、ダキバヒメアザミ (多)、ノコンギク (中)、フキ (少)、ミヤマアキノキリンソウ (少)、ヨツバヒヨドリ (少)、ヨモギ (少)、【スイカズラ科】マルバキンレイカ (中)、【セリ科】アマニュウ (多)、エゾノヨロイグサ (多)、オオバセンキュウ (多)、ミヤマセンキュウ (多)

〔木本〕

ハイイヌガヤ (少)、オオバクロモジ (少)、クロイチゴ (中)、ナナカマド (少)、マルバシモツケ (少)、ブナ (少)、ミズナラ (少)、ダケカンバ (中)、ミヤマハンノキ (少)、ヒロハツリバナ (少)、イヌコリヤナギ (少)、ミヤマヤナギ (少)、アカイタヤ (中)、ウリハダカエデ (中)、ハウチワカエデ (中)、ミネカエデ (中)、エゾアジサイ (多)、ノリウツギ (多)、コヨウラクツツジ (中)、ハナヒリノキ (少)、マルバアオダモ (少)、アカミノイヌツゲ (少)、オオカメノキ (多)、タニウツギ (少)

〔計 63 種〕

<リスト2> 小田越登山道沿いで食痕が見つかった種と被食の頻度

(8月12日の結果と7月18日の早池峰グリーンボランティア自主調査の結果を合わせて示す)

〔シダ植物〕ヤマソテツ (多)、イヌガンソク (少)、ミヤマワラビ (少)、ゼンマイ (中)

〔単子葉草本〕チシマザサ (中)、ネバリノギラン (中)、タカネアオヤギソウ (少)

〔その他草本〕オニシモツケ (多)、シロバナトウウチソウ (中)、エゾオヤマリンドウ (少)、ヨツバシオガマ (少)、ツルニンジン (少)、ダキバヒメアザミ (多)、カニコウモリ (多)、ゴマナ (多)、フキ (少)、イブキゼリモドキ (少)、エゾノヨロイグサ (多)、シラネセンキュウ (多)、ミヤマセンキュウ (中)

〔木本〕ゴヨウイチゴ (中)、ヒロハヘビノボラズ (少)、ナナカマド (少)、ブナ (少)、ダケカンバ (中)、ミヤマヤナギ (少)、ミネカエデ (中)、シナノキ (少)、コヨウラクツツジ (多)、ツルシキミ (少)、ノリウツギ (多)、ツルツゲ (少)、オオカメノキ (多)、コシアブラ (少)、ハリブキ (多)

〔計 35 種〕

<リスト3> 門馬登山道沿いで食痕が見つかった種と被食の頻度

〔シダ植物〕イヌガンソク (少)

〔単子葉草本〕ネバリノギラン (中)、タマガワホトトギス (多)、チシマザサ (中)

〔その他草本〕 オニシモツケ (多)、ヤグルマソウ (多)、オオヒヨドリバナ (多)

〔木本〕 クロツリバナ (少)、ミネカエデ (多)、エゾアジサイ (多)、ノリウツギ (多)、マルバアオダモ (中)、オオカメノキ (多)、ニワトコ (少)、ハリブキ (多)

〔計 15 種〕

<河原坊登山道における大型哺乳類による食痕の様子>



<小田越登山道における大型哺乳類による食痕の様子>

二合目 草原



尾根 御田植場



平成 28 年度 早池峰山山頂避難小屋あり方検討部会 協議結果

平成 29 年 1 月 23 日（月）午後 13 時 30 分～
岩手県公会堂 15 号室

1 平成 28 年度 取組状況について

部会決定に基づき、引き続き完全携帯トイレ化ということで、通年で、携帯トイレの普及啓発及びマナー向上に取り組みました。

特に、早池峰クリーン&グリーンキャンペーン中（平成 28 年 6 月 12 日（日）から 8 月 7 日（日）までの土日祝日 計 18 日間）は、協議会構成メンバーとグリーンボランティアにより、携帯トイレの販売やマナーガイドの配付等を行いました。

2 実施概要

(1) 携帯トイレブースの設置

引き続き、山頂避難小屋の汲取り式トイレを携帯トイレブースとして、通年で携帯トイレブース 3 室体制にて実施しました。

また、1 合目手前の樹林帯に携帯トイレ用簡易テントを設置しました。



(山頂避難小屋携帯トイレブース)



(1 合目手前携帯トイレ用簡易テント)

(2) 携帯トイレ回収ボックス及び仮設トイレの設置

岳駐車場、岳さわやかトイレ、河原の坊登山口、小田越登山口に使用済携帯トイレ回収ボックスを設置し、小田越登山口付近に仮設トイレを増設設置しました。



(携帯トイレ回収ボックス 小田越登山口)



(仮設トイレ 小田越登山口付近)

3 周知・広報

- (1) 県ホームページ掲載・・・別添のとおり
- (2) 取組に係るチラシ配布（288箇所）
全国旅行会社、登山用品店、山岳関係団体、各都道府県、県内市町村等
- (3) 取組みの周知依頼
環境省、各都道府県、県政記者クラブ、都道府県記者クラブ、山岳関係団体、山岳関係誌発行社等
- (4) 早池峰地域でのお知らせチラシ掲示
岳駐車場、河原の坊総合休憩所、小田越監視員詰所、うすゆき山荘、小田越山荘、山頂避難小屋、峰南荘 ほか

参考1：携帯トイレの販売個数

平成28年度に販売した携帯トイレの個数 3,107個（昨年度3,224個）

（菅沼さんからの報告）

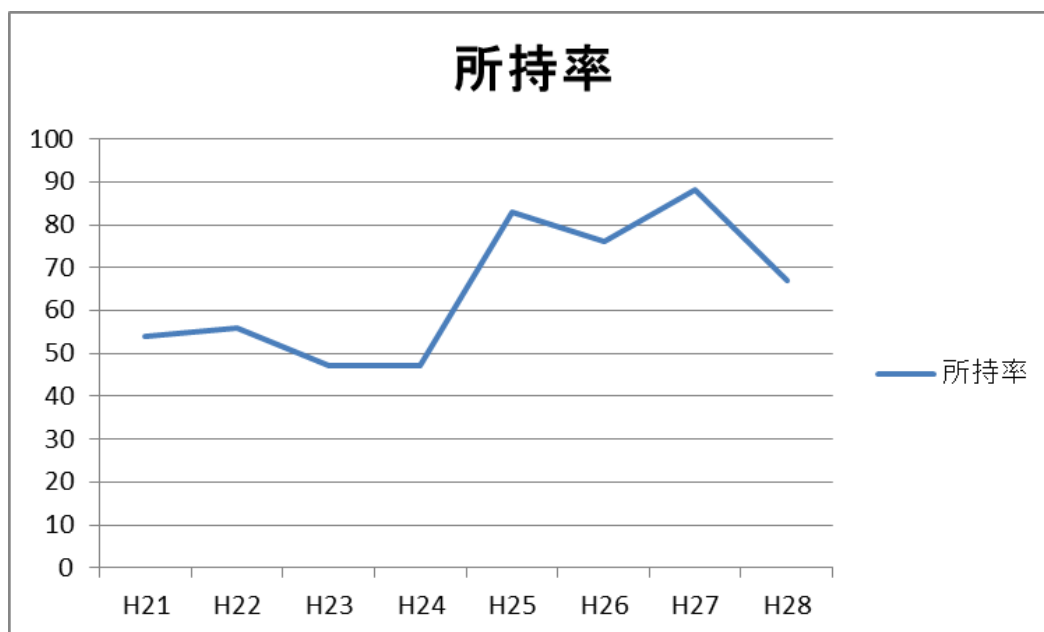
参考2：携帯トイレ所持率アンケート調査結果（9/18実施）

場所	所持	不所持	計	所持率（%）
小田越登山口	109	52	161	67.7
河原の坊登山口	—	—	—	—
計	109	52	161	67.7

（調査実施：自然保護課）

参考：携帯トイレ所持率の経年変化

（単位：%）



2 平成29年度の取組について

(1) 山頂避難小屋トイレの携帯トイレブース化

平成29年度も、通年で山頂避難小屋のトイレを携帯トイレ専用とする。

なお、以前に山頂で実施していた「混雑時の簡易テントによるブースの増設」は、ここ4年間準備はしたが、設置には至らなかった。来年度も同様に準備は行うが、設置は状況を見て判断する。

(2) 携帯トイレの普及促進

通年での山頂避難小屋の携帯トイレブース化に伴い、より一層の携帯トイレの普及促進に関係者が協力して取り組む。

ア 携帯トイレの販売体制の確保

販売及び管理は、これまでどおり「携帯トイレ’サポート早池峰」が行い、協議会関係者はその支援を行う。なお、一昨年、売上金の盗難事件が発生したことから、売上金及び商品の管理を一層徹底することを確認している。

イ 山麓トイレの拡充と使用済携帯トイレ回収体制の確保

小田越登山口におけるトイレを確保するため、登山シーズンに合わせて仮設トイレ（河原の坊コース崩落により登山道利用が見込めないことから29年度も大小兼用6基、小専用2基）を設置する。（設置期間：6月上旬（山開き前）から10月まで）

※小田越登山口の公衆トイレ施設の設置（小田越管理員詰所裏）については、管理員詰所の改修も含めて関係者間で継続して検討していく。

携帯トイレの利用に対する登山者の負担を軽減するため、小田越登山口、河原の坊登山口、峰南荘前及び岳駐車場に携帯トイレ回収箱を設置する。（設置期間：同上）

ウ 野外排泄防止対策・利用しやすい環境の整備

野外排泄による高山植物等への悪影響などについて、早池峰クリーン&グリーンキャンペーンなどを通じて登山者へのマナー啓発を強化する。

来年度も引き続き管理員等による監視を行うとともに、野外排泄の状況についても継続して調査（日誌への記載）を実施する。

【委員からの主な意見等】

- ・小田越コースに登山者が集中していることから、山開き時などには混雑する。用便を先に済ませるようなPRが必要である。
- ・山頂避難小屋の建替えはまだ大丈夫とのことであったが、山岳地域であることから、こまめに劣化箇所を点検していただきたい。
- ・山頂避難小屋のトイレブースが老朽化していることから、修繕が必要である。
- ・取組は全国的にも先駆者であるが、早池峰独自の携帯トイレを開発するなど、利用者からも意見を聴いてみてはどうか。

平成 28 年度早池峰地域保全対策推進事業実施結果について

1 平成 28 年度早池峰クリーン&グリーンキャンペーンについて

(1) 日時

平成 28 年 6 月 12 (日) から平成 28 年 8 月 7 日 (日)までの土日祝日 計 18 日間
午前 6 時～午後 1 時頃

(2) 場所

早池峰山小田越登山口、早池峰山山頂、各登山道

※ 例年、早池峰山河原の坊登山口及び小田越登山口で実施していましたが、河原の坊登山道の一部が雨により崩落し河原の坊コースが閉鎖されたため、早池峰山小田越登山口のみで実施することとなりました。

(3) 内容

早池峰山小田越登山口において関係行政機関とボランティアとの協働により下記の取組を実施しました。

ア 登山マナーガイド配布、携帯トイレ普及啓発活動

イ 車両交通規制の周知、早池峰登山シャトルバスの利用案内

ウ 登山道巡回による登山者の安全確保及び盗掘監視、移入植物駆除、清掃活動

(4) 参加人数

延べ 267 名 (早池峰グリーンボランティア 235 名、関係行政機関 32 名)

〔参考〕ボランティア参加人数の推移 (延べ人数 単位：人)

年度	H24	H25	H26	H27	H28
人数	218	224	201	203	235

2 事前の広報活動について

車両交通規制や早池峰登山シャトルバス運行の周知、利用者のマナー向上対策を目的とし、登山シーズン前 (5 月下旬) に事前の広報を行いました。

① 協力依頼文書並びにリーフレットの送付

主な送付先：旅行代理店、バス会社、山岳団体、観光施設、登山用品店、道の駅等

② 新聞広告、ポスター、ホームページによる広報

3 トイレ問題への対応について

(1) 携帯トイレの普及啓発活動について

早池峰山小田越登山口における携帯トイレの販売や、携帯トイレ無人販売箱の設置 (早池峰山河原の坊登山口、早池峰山小田越登山口及び山頂避難小屋)、携帯トイレ利用ブースの設置 (山頂避難小屋、小田越登山道) により、登山者が携帯トイレを利用しやすい環境を整えました。

携帯トイレ販売数量（単位：個）

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
数量	1,472	3,645	4,206	4,515	3,224	3,107

(2) 仮設トイレの設置について

河原の坊登山道の一部が雨により崩落し河原の坊コースが閉鎖され、早池峰山小田越登山口トイレが混み合うことが予想されたことから、平成 28 年 6 月 11 日（土）に仮設トイレ 4 基を増設し、合計 8 基としました。

仮設トイレの設置及び利用状況

年度	基数	期間	し尿回収量（ℓ）
H23	大小兼用 3、小専用 1	6/10～9/9	1,184
H24	同上	6/8～9/7	2,187
H25	同上	6/6～9/27	2,718
H26	同上	6/6～10/16	2,052
H27	同上	6/10～10/20	2,066
H28	大小兼用 6、小専用 2	6/12～10/17	5,220

(3) 使用済携帯トイレ回収ボックスの設置について

ア 期間

平成 28 年 6 月 9 日（木）から平成 28 年 11 月 11 日（金）

イ 場所

岳駐車場トイレ前、峰南荘前、早池峰山河原の坊登山口、早池峰山小田越登山口

使用済携帯トイレ回収箱の利用状況（単位：個）

年度	設置場所				合計
	岳駐車場	峰南荘前	河原の坊	小田越	
H23	06	12	47	318	383
H24	16	6	58	547	627
H25	72	14	191	1,312	1,589
H26	41	9	146	1,311	1,507
H27	67	20	139	1,395	1,621
H28	32	7	28	908	975

※ 登山開始から下山まで 2 時間程度で登山できる人（若者など）が多い傾向にあるため、携帯トイレの使用者が減ったと推測されます。

4 高山植物の保護・登山道対策について

(1) 高山植物盗採防止合同パトロール

ア 日時

平成 28 年 7 月 29 日（金） 9 時～15 時 30 分

イ 場所

早池峰山小田越登山道、薬師岳登山道

ウ 参加者 21 人

内訳

岩手南部森林管理署遠野支署、三陸北部森林管理署、岩手県警察本部、花巻・遠野・宮古各警察署、県教育委員会事務局生涯学習文化課、県自然保護課、県南広域振興局保健福祉環境部、花巻保健福祉環境センター、宮古保健福祉環境センター、花巻市、遠野市、宮古市

エ 結果概要

早池峰山小田越登山道：盗採痕跡なし

薬師岳登山道：盗採が疑われる箇所（3箇所）、高山植物の踏みつけ（3箇所）

〔参考〕近年における高山植物の盗採状況

年度	発見日	種類	場所
H26	5 月 29 日	ショウジョウバカマ（白）	小田越登山口付近
H27	7 月 24 日	ハヤチネウスユキソウ	早池峰山頂付近
	7 月 26 日	ハヤチネウスユキソウ（推定）	ニセ鶏頭山頂付近
H28	7 月 29 日	イワヒゲ	薬師岳山頂付近

(2) 早池峰地域登山道合同パトロール

雨天中止

(3) 早池峰地域移入植物駆除作業

ア 日時

〔1回目（6月）〕平成 28 年 6 月 9 日（木） 10 時～11 時 30 分

〔2回目（8月）〕平成 28 年 8 月 18 日（木） 9 時 30 分～11 時 30 分

イ 場所

早池峰山河原の坊登山口～小田越登山口県道沿い

ウ 参加者

〔1回目（6月）〕約 28 人

〔2回目（8月）〕約 40 人

内訳

岩手南部森林管理署遠野支署、三陸北部森林管理署、県自然保護課、県南広域振興局保健福祉環境部、花巻保健福祉環境センター、宮古保健福祉環境センター、花巻市、遠野市、宮古市、早池峰グリーンボランティア、早池峰フォーラム実行委員会、早池峰の未来を考える女性の会

エ 駆除植物及び数量

〔1回目（6月）〕セイヨウタンポポ、オオバコ 約 85kg

〔2回目（8月）〕オオハンゴンソウ 約 34kg

オ 生育状況について

オオハンゴンソウについて、沿道には見られなかったが、沿道を外れ奥まった場所には生育を確認しました。また、笠詰キャンプ場付近に群生している場所を確認しました。

5 ボランティア活動の支援について

(1) スキルアップ研修

平成 28 年 7 月 24 日（土） 研修テーマ「早池峰山の高地の昆虫類と高山植物」

講師 元県立高校教諭 片山 千賀志 氏

平成 28 年 9 月 11 日（日） 早池峰地域巡り「早池峰山～鶏頭山縦走コース」

平成 28 年 10 月 1 日（日） 早池峰から見える山探訪①「栗駒山」

平成 28 年 10 月 30 日（日） 早池峰から見える山探訪②「兜明神・岩神山」

(2) 自主クリーン&グリーンキャンペーン活動

平成 28 年 8 月 11 日（木） 祝日 携帯トイレの普及啓発活動や路上駐車対策

平成 28 年 9 月 18 日（日） 同上

平成 28 年 10 月 9 日（日） 同上

(3) 早池峰登山シャトルバスグリーンボランティア利用券の配布

早池峰クリーン&グリーンキャンペーンに参加する早池峰グリーンボランティアを支援するため、無料乗車券 325 枚を配布しました。

6 その他

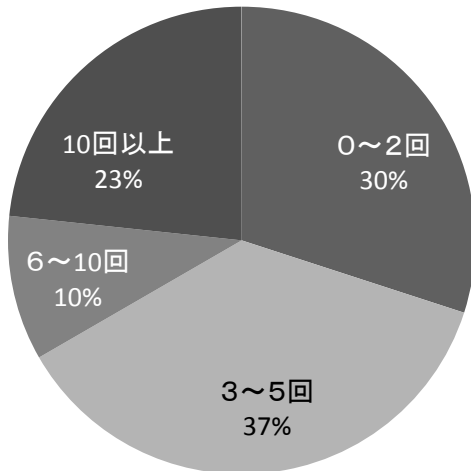
(1) アンケートの実施について

早池峰グリーンボランティアを対象として、早池峰クリーン&グリーンキャンペーンに係るアンケート調査を実施しました。集計結果については、別紙 1 のとおりです。

早池峰クリーン&グリーンキャンペーンアンケート結果

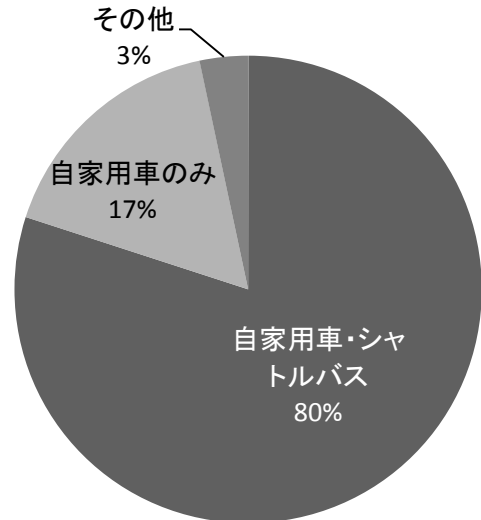
- 1 実施期間 平成28年8月9日～平成28年8月31日
- 2 対象者 早池峰グリーンボランティア128人
- 3 回答状況 回答数30人 回答率23% (回答者のうち、キャンペーン参加者数19人)

早池峰キャンペーンへの参加回数



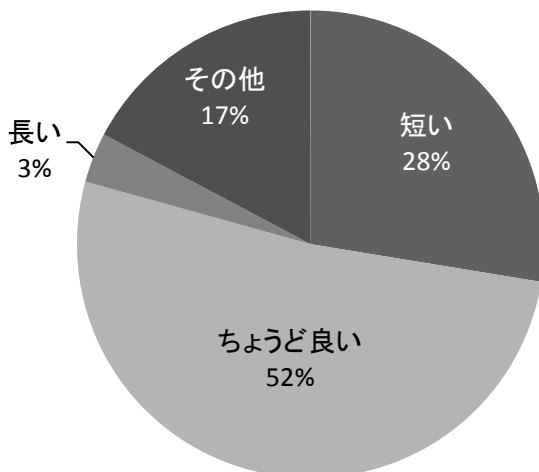
7割の方が、3回以上参加されていた。参加者数を増やす取組を期待する意見もあった。

実施場所（小田越登山口）への交通手段



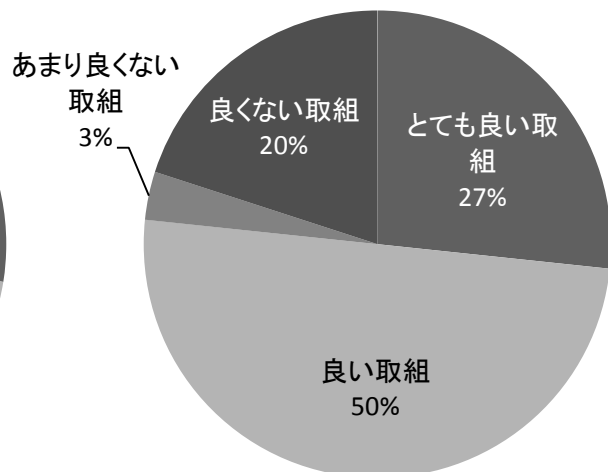
8割の方がシャトルバスを利用しており、その他、車両規制が始まる午前5時までに現地入りしている方もいた。

早池峰キャンペーンの実施期間に対する意見



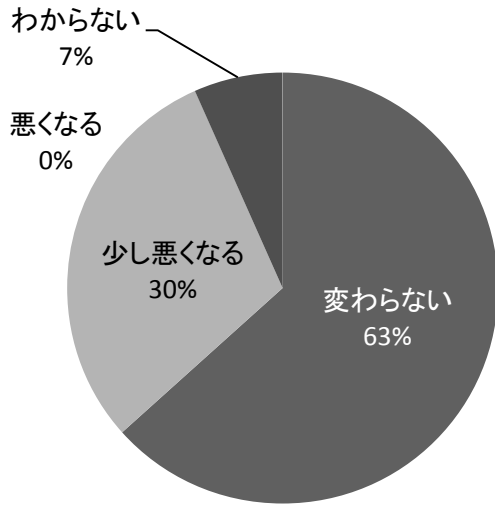
ちょうど良いとする意見が半数以上あったが、短いとの意見の中には、山の日や秋の連休期間も実施すべきとの意見もあった。

早池峰キャンペーンに対する評価



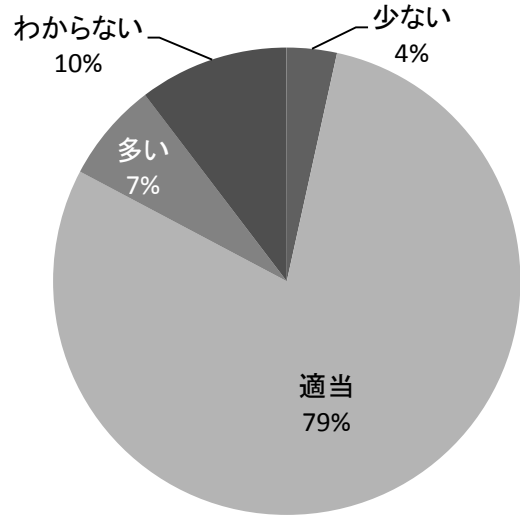
この活動により、携帯トイレが定着が進んでいると評価する意見が多かった。良くない取組とする意見の中には、他の山との比較で、早池峰山を特別扱いし過ぎではないかとの意見もあった。

小田越コースの登山者が増えることによるマナーの変化



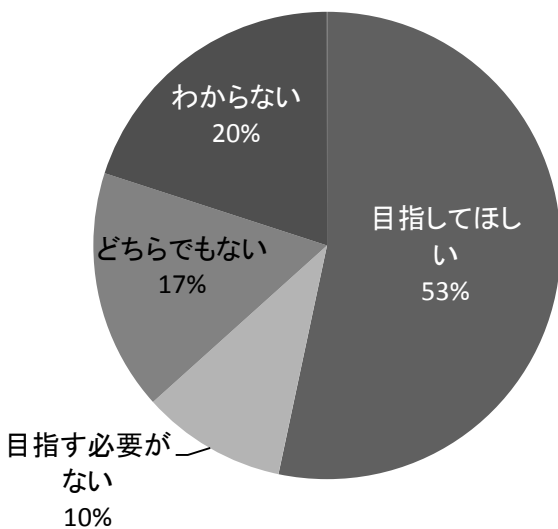
約6割の方が、登山者のマナーに変化がないと考えているが、多少悪くなるとの懸念も見られる。

仮設トイレ増設への感想



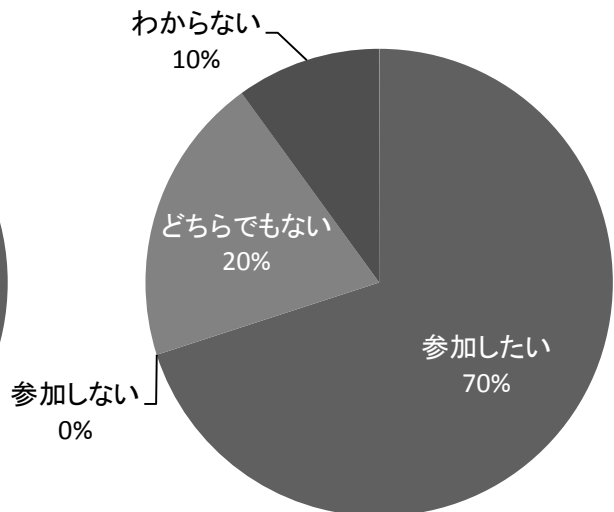
仮設トイレの増設に関して、約8割の方から評価をいただいた。

ユネスコエコパーク認定を目指した取組



約半数以上の方から目指してほしいとの意見があった。

ユネスコエコパーク勉強会への参加



約7割の方が、ユネスコエコパークの勉強会があれば参加したいとの意見であった。

平成 29 年度早池峰地域保全対策推進事業実施計画について

I はじめに

早池峰山は、ハヤチネウスユキソウを始めとする貴重な植物の宝庫であり、日本百名山にも選ばれている自然豊かな岩手を代表する山であります。

県では、本県の森や川、海等の優れた自然環境を確実に次世代に引き継いでいくため、「環境基本計画」に基づき、希少野生動植物の生息・生育環境の保全などの自然保護対策に、県民、関係団体、行政などの連携・協働により取り組んでいるところです。

また、早池峰国定公園において、関係機関やボランティアとの協働による登山マナーの普及啓発や高山植物保護等の取組を実施し、優れた自然環境の保全に取り組んでいるところです。

本実施計画は、民間団体と行政のパートナーシップにより保全対策事業を実施し、早池峰地域の優れた自然環境の保全と自然公園の持続可能な利用の推進を目的として策定するものです。

II 各取組の実施について

1 平成 29 年度早池峰クリーン&グリーンキャンペーンについて

早池峰地域の自然環境の保護と適正な公園利用を推進するため、現地におけるマナー啓発等の活動を関係機関とボランティアの協働により実施します。また、高山植物の盗掘や野外排泄の対策の取組として、ボランティアによる登山道の巡回を強化していきます。

(1) 日時

平成 29 年 6 月 11 日（日）から平成 29 年 8 月 6 日（日）までの土日祝日 計 18 日間
午前 6 時～午後 1 時頃

(2) 場所

早池峰山小田越登山口、早池峰山山頂、各登山道

(3) 内容

ア 登山者へのマナー啓発

- ・ 早池峰マナーガイドの配布、携帯トイレの普及啓発、山麓トイレの利用推奨
- ・ 登山道、山頂でのマナー指導や清掃活動

イ 車両通行規制の円滑な運用

- ・ 駐車場、登山口等での車両通行規制の周知
- ・ シャトルバスの案内、問い合わせ対応

ウ 希少野生植物の保護

- ・ 登山道、山頂の巡回による盗採監視

- ・ 巡回に合わせたセイヨウタンポポ等の移入植物の駆除作業

(4) 実施体制

活動場所	対応者	対応内容
岳駐車場、江繋 駐車場	交通整理補助員（シルバー人材 センター派遣）	車両規制の周知、シャトルバス の案内・問い合わせ
小田越登山口	関係行政機関職員（別表） 早池峰グリーンボランティア	早池峰マナーガイドの配布、携 帯トイレの普及啓発、交通車両 規制の周知、早池峰登山シャト ルバスの案内・問合せ対応
登山道～山頂	早池峰グリーンボランティア	登山マナー等の指導、清掃活 動、盗採監視、移入植物の駆除 等

2 事前の広報活動について

(1) 事前配布による登山マナー啓発について

旅行会社やバス事業者、登山用品店、観光施設、山岳団体、学校山岳部などを対象として、早池峰マナーガイドや車両通行規制チラシを配布し、登山マナーや車両交通規制等の周知を図ります。

(2) ホームページや広報誌等による広報活動について

ホームページや広報誌等により、登山マナー啓発や車両交通規制、高山植物保護などに関する情報を発信します。また、協議会構成団体においても、会員への周知や利用可能な手段による広報に努めることとします。

(広報項目)

- ・ 車両交通規制の実施内容と早池峰登山シャトルバス等の公共交通機関の利用推奨に関すること（岩手県交通株式会社のホームページへのリンクなどを活用すること。）。
- ・ 早池峰山小田越登山口には駐車場はないことの周知や早池峰山河原の坊駐車場の利用推奨に関すること。
- ・ 秋の行楽シーズンは河原の坊駐車場が大変混雑し、駐車場に駐車できないことがあること（グループ登山における車の相乗りの推奨）。
- ・ 携帯トイレ利用推奨（携帯トイレ利用ブース山頂及び登山道に設置）に関すること。
- ・ 高山植物の盗掘防止に関すること。

- ・ 山頂避難小屋への宿泊不可に関すること。
- ・ 秋の行楽シーズンの混雑時、観光バス等の大型車両については麓の駐車場で待機してもらいたいこと。
- ・ 小田越山荘では携帯トイレ専用となっているため、あらかじめ携帯トイレの準備してもらいたいこと。

3 高山植物の保護・監視対策について

早池峰地域には、固有種、希少種を含む数多くの高山植物が生育し、日本有数の高山植物の宝庫として知られているが、登山者による踏み付けや移入植物等の生育、盗採等の人為的影響が懸念されていることから、関係機関との連携を図りながら次の対策を講じます。

(1) 高山植物盗採防止パトロール

高山植物の保護、採取・損傷行為防止のため、関係機関による盗採防止合同パトロールを実施し、盗採対策について広く周知を図ります。

ア 実施日 : 7月上旬の高山植物のシーズンに合わせて実施する。

イ 実施機関 : 県警本部、関係各警察署、関係各森林管理署、関係各市（花巻市、遠野市、宮古市）、県関係機関

(2) 盗採防止に係る広報

関係機関及び関係団体については、ホームページなどを利用し、積極的に盗採防止の啓発を行うこととします。

(3) 監視の強化

自然公園保護管理員による監視業務の他、グリーンボランティアの協力によるキャンペーン中の登山道巡回に取り組みます。

(4) 盗採情報の収集と対策の検討

自然公園保護管理員を中心とした盗採情報の収集及び森林管理署、市、県等の関係機関による情報の共有を行います。希少な野生植物の盗採が発生した際には、関係機関で協議し、適切な対応を図ります。

(5) 移入植物駆除

セイヨウタンポポ、オオバコ等に加え、オオハンゴンソウの侵入が認められていることから、関係機関とボランティアとの協同により駆除作業を実施します。また、早池峰クリーン&グリーンキャンペーンでの巡回活動に合わせ、山頂や登山道での駆除作業をグリーンボランティアの協力により実施します。

移入植物の種子が、自然公園内に持ち込まれることを防止するため、各登山口に泥

落としマットを設置します。

ア 実施日 : 第1回 セイヨウタンポポ、オオバコ (6月中旬を予定)

第2回 オオハンゴンソウ (8月中旬～下旬頃)

イ 実施場所: 河原の坊登山口～小田越登山口周辺の県道沿い

ウ 実施機関: 協議会構成機関・団体、早池峰グリーンボランティア

(6) 登山道パトロール

登山道の状況確認及び高山植物の調査を目的としてパトロールを実施し、登山道の危険箇所等の対策検討や情報の共有を実施します。

実施日 : 6月上旬の山開き前

実施機関: 関係各森林管理署、関係各市 (花巻市、遠野市、宮古市)、県関係機関

4 自動車利用適正化対策について

(1) 交通規制の内容

ア 日時

平成29年6月11日(日)から平成29年8月6日(日)までの土日祝日計18日間

イ 区間

主要地方道紫波江繋線内の花巻市大迫町川目岳地内から宮古市江繋地内までの約16km

ウ 時間: 大型車・特定中型車 午前5時から午後5時まで

上記以外 午前5時から午後1時まで

※ 乗合バス(路線バス、シャトルバス)・タクシー・ハイヤー・二輪車・許可車両を除く。

※ 車両交通規制時間帯については、早池峰国定公園地域協議会において協議中であり、平成29年4月を目途に確定する見込みです。

(2) 車両交通規制への対応

自動車利用適正化対策に係る事業について、早池峰国定公園地域協議会が下記のとおり実施する予定となっています。

ア 車両交通規制の周知

- ・ 交通規制周知用チラシ及びポスターによる周知活動と事前配布による広報します。
- ・ 関係市や県の広報やホームページ、新聞広告などの広報媒体を活用した交通規制やシャトルバス等の公共交通機関の利用促進に関する周知を実施します。

- ・ 規制予告板、通行止め看板、駐車場案内看板を設置します。

イ 駐車場の利用促進

車両交通規制区間の起点などに設置されている無料駐車場の利用を促進します。

ウ 交通誘導の配置

車両交通規制区間の次の起終点に交通誘導員を配置します。

- ・ 花巻市大迫町：岳駐車場、峰南荘前
- ・ 宮古市江繋：江繋、荒川口

エ 早池峰登山シャトルバスの運行

① 運行期間

交通規制実施期間と同期間

② 運行区間

岳駐車場～河原の坊～小田越～荒川間、江繋～荒川間

③ 運行体制

岩手県交通株式会社と有限会社ファミリー観光岩手との共同運行

- ※ 車両運行補助員（出発時やバスの擦違い時等の連絡調整）については、早池峰
 国定公園地域協議会がシルバー人材センターの派遣で対応する。

(3) 小田越登山口における道路脇駐車対策

通行の妨げとなるような道路脇の駐車車両について状況調査を実施し、円滑な道路交通の確保に向けた対策を検討します。

5 山頂避難小屋あり方（トイレ問題）への取組について（早池峰山山頂避難小屋あり方検討部会）

(1) 山頂避難小屋トイレの携帯トイレブース化

平成 29 年度も、通年で山頂避難小屋のトイレを携帯トイレ専用とします。

なお、以前に山頂で実施していた「混雑時の簡易テントによるブースの増設」は、ここ 4 年間準備はしたが、設置には至らなかった。来年度も同様に準備は行うが、設置は状況を見て判断します。

(2) 携帯トイレの普及促進

通年で山頂避難小屋の携帯トイレブース化に伴い、より一層の携帯トイレの普及促進に関係者が協力して取り組みます。

ア 携帯トイレの販売体制の確保

販売及び管理は、これまでどおり「携帯トイレ' サポート早池峰」が行い、協議会関係者はその支援を行います。なお、一昨年、売上金の盗難事件が発生したこと

から、売上金及び商品の管理を一層徹底することを確認しています。

イ 山麓トイレの拡充と使用済携帯トイレ回収体制の確保

小田越登山口におけるトイレを確保するため、登山シーズンに合わせて仮設トイレを設置する。

① 設置期間：6月上旬（山開き前）～10月

② 設置基数：河原の坊コース崩落により登山道利用が見込めないことから、平成29年度も大小兼用6基、小専用2基設置する。

※ 小田越登山口の公衆トイレ施設の設置（小田越管理員詰所裏）については、管理員詰所の改修も含めて関係者間で継続して検討していく。

携帯トイレの利用に対する登山者の負担を軽減するため、小田越登山口、河原の坊登山口、峰南荘前及び岳駐車場に携帯トイレ回収箱を設置する。（設置期間：同上）

なお、小田越山荘が昨年度から携帯トイレ専用となっていることについて、周知を徹底する。

ウ 野外排泄防止対策・利用しやすい環境の整備

野外排泄による高山植物等への悪影響などについて、早池峰クリーン&グリーンキャンペーンなどを通じて登山者へのマナー啓発を強化する。

来年度も引き続き管理員等による監視を行うとともに、野外排泄の状況についても継続して調査（日誌への記載）を実施する。

6 シカ対策の取組（早池峰地域シカ対策部会）

(1) ねらい

笛貫ノ滝付近のシカの通り道に岩手大学農学部が開発した忌避剤のサンプルを試験散布して以下の項目について検証します。

(2) 散布方法等

ア 場所：笛貫ノ滝付近（自然公園の区域外）

イ 使用する忌避剤：岩手大学農学部が研究開発したライオン排泄物由来の忌避剤

ウ 散布時期：今後調整 ※ 忌避効果は2～5箇月程度

エ 散布方法：忌避剤を希釈した水溶液を上記場所に農薬散布機（動力噴霧）などにより散布する。なお、散布したエリアがわかるように目印（ピンクテープ）を表示する。

(3) 確認方法

散布前、散布後、1週間後、1ヶ月後にそれぞれ現地を踏査して痕跡や植物の状況などを調査する。また、カメラを設置しシカの行動を調査します。

ア 調査項目

- ① 痕跡等（足跡・フンなど）の確認 ※散布、未散布での違いを確認
- ② 自主植物の確認（枯れ、被食、踏み荒らしなど）
- ③ 臭気の確認

イ 確認者

- ① 参加可能な委員
- ② 岩手大学農学部 西プロジェクト研究員
- ③ 事務局（自然保護課職員）

(4) シカ分布状況の情報提供

モニタリング（H27,H28 実施）及びシカ監視員により得られたシカの分布を捕獲従事者（狩猟者）に情報提供し、捕獲の効率化を図ります。また、シカ監視員による調査も継続的に実施します。

7 早池峰地域保全対策事業推進協議会会長表彰の実施

早池峰地域の保全に貢献した団体・個人を対象として表彰を行います。

平成 29 年度早池峰クリーン&グリーンキャンペーン関係機関配置計画

	実施日（対応日）	小田越登山口
1	6月11日（日） （山開き）	自然保護課、県南保健福祉環境部
2	6月17日（土）	宮古保健福祉環境センター
3	6月18日（日）	道路環境課
4	6月24日（土）	花巻土木センター
5	6月25日（日）	宮古市川井総合事務所
6	7月1日（土）	宮古土木センター
7	7月2日（日）	県南保健福祉環境部
8	7月8日（土）	三陸北部森林管理署
9	7月9日（日）	岩手南部森林管理署遠野支署
10	7月15日（土）	花巻市大迫総合支所
11	7月16日（日）	県南保健福祉環境部
12	7月17日（月）	花巻保健福祉環境センター
13	7月22日（土）	自然保護課
14	7月23日（日）	東北地方環境事務所盛岡自然保護官事務所
15	7月29日（土）	県南保健福祉環境部
16	7月30日（日）	自然保護課
17	8月5日（土）	遠野市
18	8月6日（日）	岩手県交通株式会社

※1 登山口での対応は1名以上とすること。

※2 対応日の変更を要する場合には、概ね1週間前までに事務局に連絡すること。